



2023-2024 ガバナー月信

GOVERNOR'S

Monthly Letter



地域に希望を育てよう！

国際ロータリー第2510地区 2023-2024年度ガバナー 松浦 光紀

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail: rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>



国際ロータリー第2510地区

2023-2024年度地区目標

「地域に希望を育てよう」

1. クラブの戦略計画を打ちたて、会員増強を実現しよう
2. ポリオデーに参加しよう
3. 地域に根ざした青年奉仕を充実させよう
4. オンリーワンチャレンジをみつけよう

・ ガバナーメッセージ	1p
・ 伊藤義郎元 RI 理事 (PG) 訃報	2p
・ 日本人親善朝食会	6p
・ 函館五稜郭すずらんロータリー衛星クラブ設立のご案内	7p
・ コーディネーターニュース	8p
・ ハイライトよねやま	11p
・ 11月財団・米山奨学会寄付	14p
・ 11月会員数・例会数報告	15p
・ 新会員のご紹介・ガバナー事務所からお願い	16p
・ 地区カレンダー1・2月	17p
・ ガバナー事務所だより・編集後記	18p
・ 表紙の解説	19p



ガバナーメッセージ

国際ロータリー2510地区
ガバナー

松浦 光紀

(小樽南 RC)

新しい年が始まりました。
就任させて頂き、半年が過ぎました。
クラブ訪問も皆様のご協力により、無事終了致しました。
然し、年末頃から体調が崩れ、皆様にご迷惑をお掛け致しました。
お休みを頂き少しずつ良くなっているように感じております。
各クラブとも歴史のあるクラブ様で、夫々地域に密着された素晴らしい活動がなされておりました。
其々の地域に於いて、出来る限りの活動をされて居るように認識させて頂きました。
後半戦に入りますが、ガバナー補佐の方々と一緒に、次年度以降に元づく活動を勧めて行きたいと考えております。1つは、ローターアクトクラブの充実、拡大です。第2に女性会員の増員です。
其々、難しい課題があると考えられますが、一つ一つ課題を整理し、その問題を整理し対応することが必要であると思っております。1つに地域特性が考えられます。2023年度のジェンダーギャップに依ると、都道府県の中で北海道の行政部門については、全国47位、教育部門に於いて47位、経済部門に於いて45位、政治部門に於いて

は12位でした。日本のジェンダーギャップは世界の最低レベルです。昨年度より悪化しています。結論から言いますと、世界の最低の地域になります。その中で、女性会員の増強を図ることは、大変難しい課題であると考えます。一度振り返り、北海道社会の中で、大きなテーマとして、女性の社会進出の為に私達は何が出来るか、考察することが女性会員の増強と併せ整理する必要があるように思います。女性の方が地域の中で活躍することが多くなれば、社会はより躍進することになると考えます。
その上で、今が最大のチャンスかも知れません。

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈りいたします。



伊藤義郎元 RI 理事 (PG)
2023 年 12 月 5 日ご逝去
(満 96 歳)

【ロータリー歴】

1957 年 7 月	札幌ロータリークラブ入会
1968 年 7 月	札幌ロータリークラブ会長
1977 ～ 78 年度	国際ロータリー第 251 地区 (当時) ガバナー
1978 ～ 79 年度	世界親睦活動委員
1981 ～ 82 年度	アジア地域諮問委員会副委員長、 1983 年国際大会 (トロント) 委員
1982 ～ 83 年度	1983 年国際大会 (トロント) 委員
1985 ～ 86 年度	ガバナー会議顧問
1986 ～ 88 年度	国際ロータリー理事
1987 ～ 88 年度	ガバナー会議顧問
1988 ～ 89 年度	財務委員会委員
1989 ～ 91 年度	財務委員会委員、ロータリー財団管理委員
1991 ～ 92 年度	ロータリー財団管理委員
1996 ～ 97 年度	アジア拡大委員会委員、 1998 年国際大会 (インディアナポリス) 委員
1998 ～ 99 年度	アジア問題委員会副委員長
1999 ～ 00 年度	2001 ～ 02 年度会長指名委員
2002 ～ 04 年度	長期計画委員会委員
2009 ～ 11 年度	一般財団法人ロータリー日本財団評議員
2011 ～ 21 年度	公益財団法人ロータリー日本財団評議員

【表彰】

ロータリー財団	メジャードナー	ベネファクター
米山記念奨学会	米山功労者マルチプル	

伊藤義郎元 RI 理事 (PG) を偲んで



国際ロータリー第2510地区2018－19年度ガバナー
小山 司 (札幌 RC)

札幌 RC 会員で、1977年に国際ロータリー第251地区（当時）ガバナー、1986－88年度に RI 理事をお務めになった伊藤義郎会員が2023年12月5日に天寿を全うされました。96歳でした。その行動力とリーダーシップにより北海道の経済、教育、文化、スポーツ、保健・医療、放送など幅広い分野において、北海道の発展と国際化に生涯を捧げていただきました。ご生前にいただいたこれらの多大なご尽力とご功績に深く感謝申し上げますとともに、謹んで哀悼の意を表します。伊藤会員は1926年12月14日に父、伊藤組土建社長伊藤豊次様、母、辰様の長男として、札幌市にお生まれになりました。伊藤豊次様は札幌 RC のチャーターメンバーのお一人でもありました。長じて旧制北海道庁立札幌第一中学校（北海道札幌南高等学校の前身）を経て、1950年に早稲田大学政経学部を卒業。卒業と同時に伊藤土建株式会社取締役役に就任し、留学のため渡米している。周囲の反対を説得したうえでのご自身の強いご意思であったと伺っています。

1952年にカリフォルニア大学大学院を修了し、さらに1953年にはコロンビア大学大学院を修了し、帰国後、1956年に30歳で伊藤土建株式会社取締役社長に就任している。その後の実業界での活躍はもちろんのこと、枚挙にいとまがないほどの公職をこなし、2002年、会長職となって後進に道を譲られた後も精力的に職責を果たしてこられました。

これらのご功績が藍綬褒章（昭和58年11月）、米海軍省表彰 民間人勲功章（平成10年6月）、米海軍長官表彰 公共奉仕特別勲功章（平成21年7月）、ノルウエースキー協会 ヤング・オラフトロフィー（平成22年3月）、北海道功労賞特別賞（平成28年10月）、旭日重光章（平成29年11月）など多くの受章によって顕彰されたことは御同慶の至りであります。

私は伊藤会員と同じ札幌 RC の会員であったこともあり、親しくご厚誼とご指導をいただきました。北海道発展への限りない情熱と誠実なお人柄、そして後輩を育てる教育的まなざしと人に対する優しさが、今もはっきり思い出され、伊藤会員が帰らぬ人となられたことはとても信じることができません。改めて言い知れぬ寂しさと悲しみがこみあげてきます。私が2018－19年 RI 第2510地区ガバナーを命ぜられた際には、正直言って RI 役員として地区のガバナンスを実行する役割は、私自身にとって荷の重すぎることでありました。しかし、伊藤会員の懇切丁寧なご指導と必要に応じた適切なお助言をいただくうちに、いつの間にかロータリー活動に関する理解が深まり、ガバナー年度の構想づくりに集中するまでになっていました。ガバナー年度を通して伊藤会員の存在そのものが心の大きな支えとなりました。感謝の気持ちでいっぱいです。

冒頭に述べましたように、伊藤会員は1986-88年度RI理事をお務めになりました。我が地区だけでなく日本のロータリアンにとって象徴的な存在であり、リーダーとして日本のロータリー活動に立派な足跡を残されました。それらが伊藤会員の豊かなお人柄や広い見識によって支えられ、生み出されたことを、喜びと感謝をこめて、とくに申し添えたいと思います。伊藤会員のこれまでのロータリアンとしての歩みは北海道のため、さらには我が国のロータリー活動の健全な発展にとって誠に幸いな道程でありました。それは私たち関係者一同の喜びであり、ひそかな誇りであったと言えます。

何かの折に、「北海道に生まれて生を受けたので、北海道を少しでも良くするため、まだやらなければならないことがたくさんあると思っている。」としみじみと話しておられたことが思い出されます。私なりに地域に根差したロータリー奉仕活動の重要性を指摘されたものと理解しています。

伊藤会員の北海道の発展へのあくなき理想を燃やし続けられた生涯を思うとき、かけがえのないリーダーを失ったという悲しみとともに、心に大きな空洞が生まれたような寂寞の思いがこみ上げてきます。ご遺族の心中を思うとき、今はただ故人の安らかなるご冥福をお祈り申し上げる次第です。

伊藤義郎元 RI 理事 (PG) を偲んで

伊藤義郎元 RI 理事の訃報に接し、残念な気持ちで一杯です。私たち札幌ロータリークラブの会員にとりまして常に心の支えであり、迷ったときには「伊藤さんであればどのようにお考えになるだろう」と問うのが習慣になっている存在でした。精神的な支柱を失ってしまい、深い悲しみに包まれています。

伊藤さんがお亡くなりになった、というニュースを受けたのは年末家族親睦会を5日後に控えた日の夕方でした。私自身、悩み、迷いました。親睦会を取りやめて会員一同喪に服するべきではないか、とも考えました。しかしながらロータリーをこよなく愛して下さった伊藤さんには私たちが家族会を楽しみ、親睦を深めている様子をお見せすることが一番の供養になる、と信じ、追悼例会で会員のご家族やゲストの方と一緒に黙とうを行い、それに引き続いて例年通りに親睦会を開催することに決めました。親睦家族会を担当する親睦委員会にはいつもよりも賑やかな、楽しい会にするように話し、またオープニングステージをお任せした札幌国際情報高校の吹奏楽部の生徒さんたちには私が直接お会いして悲しみに沈んだ心を明るくしてくれるパフォーマンスをしてくださるようお願いしました。若い、はつらつとした高校生から出席者全員がパワーをもらい、明るくエネルギッシュな雰囲気の中で私たちが家族会を存分に楽しんでいるところを伊藤さんのご遺影にお見せすることが出来たと思います。

私が伊藤さんに最後にお目にかかったのは昨年の札幌 RC 創立 90 周年の記念例会の時でした。スピーチをされる時に「お座りになってお話してください」という私たちの申し出に対して「私は立って話します」とおっしゃって、すっとお立ちになってテーブルに手をついて体を支えながらお話しになった、凛としたお姿が目には焼き付いています。記念例会後の懇親会では私は光栄なことに伊藤さんのお隣の席に座ることが出来ました。シャンパングラスで乾杯をしていただいたことが大切な思い出になっています。

RI 理事をお勤めになった後、RI 会長への就任を打診されたときに「RI 会長になると家内を日本においてアメリカに赴任しなければならなくなるのが淋しい」とおっしゃって就任を受諾しなかった、というエピソードが残っています。伊藤さんはご家族をこよなく愛する優しさをお持ちになった方でした。

私のところに海外のロータリアンからたくさんのお悔やみのメールが届いています。本当に偉大な方を亡くしてしまいました。残されたメンバーで伊藤さんのご遺志を引き継ぎ、クラブの発展に尽力していきたいと思います。

2023 年 12 月

札幌ロータリークラブ会長 福山眞司



佐藤芳郎国際ロータリー理事主催

日本人親善朝食会

～国際ロータリーの世界のリーダーと接するひととき～

2024年5月26日(日)



朝食会会場

より強い絆をシンガポールで深めよう!

- 7:00 開場・受付
- 7:30 開会 ゴードン R. マッキナリー R I 会長
スピーチ(予定)
- 9:00 閉会

先着順 **600**名まで
登録料 10,000円



佐藤 RI 理事



ゴードン 会長

会場周辺 Map

会場: ラッフルズシティコンベンションセンター フェアモントボールルーム **4階**
 住所: 80 Bras Basah Road, Singapore, 189560 TEL: +65 6339 7777



▲周辺地図
参照してください

access

- ・地下鉄(MRT) レッドライン(North-South Line)【NS25駅】
- ・グリーンライン(East-West Line)シティホール駅より徒歩10分【EW13駅】
- ・オレンジライン(Circle Line)エスプラネード駅より徒歩10分【CC3駅】
- ・タクシー: スイスホテルザスタンフォード正面玄関にて下車

函館五稜郭すずらんロータリー衛星クラブ設立のご案内

令和5年12月21日(木)

函館五稜郭ロータリーすずらん衛星クラブ議長 中川 正光

記

スポンサークラブ第2510地区11グループ函館五稜郭ロータリークラブ2022-2023直前会長小林大輔が函館五稜郭ロータリーすずらん衛星クラブを設立し2023年6月28日付でRI理事会より認可を受けました。

これから全会員で一致団結を図り、奉仕と親睦を行って参ります。

開催日 : 月2回 第2週、第4週 火曜日
開催時間 : 15時00分
開催場所 : 株式会社エスティ 函館市万代町1番1号
議長 : 中川正光 幹事 : 岡田誠司

柔軟で愛に満ちたクラブ運営をしましょう



第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 若林 英博（東京麹町 RC）

ロータリークラブは「正会員」と「名誉会員」の2種類の会員種類をもつことができます。正会員の必須事項は 1.例会に出席すること 2.会費を納めること 3.ロータリーの雑誌を購読することですが、会費の中には RI 人頭分担金、地区賦課金、例会費、事務局経費、場合によっては地区大会人頭分担金などが含まれます。

現在 RI では、クラブが多様な会員種類を作っても構わないことになっています。第 2580 地区のクラブでは、様々な会員種が来ていますのでご紹介いたします。

- シニア会員・・・ご高齢の方の退会防止につながります。あるクラブでは、“年齢 84 歳以上、ロータリー歴 20 年以上、クラブ理事会でシニア会員になれるかどうかの可否を判断する”と基準を設けています。例会には月 1 回まで出席は無料、あとはメイクアップ扱い（ビジター費をいただく）にします。会費は年 10 万円にしています。この制度は会員が仕事をリタイアして満額の会費負担が厳しい、ご高齢になられて体力的に厳しく家族の反対がある、そろそろロータリーを引退かという方を想定しています。最後までロータリアンでいたい、棺桶にバッジを付けて入りたいなど、心の底からロータリーが大好きな方に手を差し伸べる仕組みです。但し余裕のある資産家の方には、申し訳ないですが、84 歳以上になられても一般の正会員のままでいていただくというクラブの規定があります。理由はクラブの運営費が不足するからです。
- 家族会員・・・正会員のご家族に入会してもらう仕組みです。例えばご主人がロータリアンで、ご子息が他団体に入会しているということはよくありますが、家族会員制度を利用して早くからロータリーに入会いただこうとする制度です。会費は正会員の半額とし、世帯で合計 1.5 倍の会費を支払います。例会にお二人揃って無条件参加可能としているクラブと、例会参加はお一人ずつなど、ある程度の出席制限を設けているクラブがあります。お二人揃って全ての例会に参加されると採算が合わなくなる可能性があるからです。
- WEB 会員・・・コロナ禍でズームなどを使った、対面とバーチャルのハイブリッド例会が可能となりました。WEB 会員は、例会にバーチャル参加することが基本となります。食事を召し上がらないので会費を低額に設定することができます。例会に対面参加した場合にはビジター費をいただきます。家族会や親睦旅行には対面で参加します。お仕事の関係で昼の例会に出にくい方、遠方の方、若くてまだ満額の会費負担が厳しい方に対して有効な制度です。

会員制度ではありませんが、衛星クラブの紹介をします。すでに全国的に衛星クラブが多くなってきました。衛星クラブの創設には 8 名以上の会員候補者が必要です。会員が 20 名以上になるとロータリークラブに変更することも可能です。衛星クラブの会員は、スポンサークラブの会員として会員数に加算されます。例会数や会費は衛星クラブが独自に決めますが、RI 人頭分担金などは支払わなくてはいけません。現在年間 6 万円の会費としている衛星クラブが当地区では多いようです。

なお、これらの会員種類は全て各クラブの理事会で詳細を決めていただきます。どうぞクラブの活性化に役立ててください。皆様の周りで、新しい会員種類を設けたクラブや検討中のクラブがあれば、ぜひ詳細をご教授ください。機会があれば、全国のクラブへ情報共有したいと思います。

入力フォーム <https://forms.gle/1hneFbkGGzPyJ7ay8>





第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 高良 明(川崎西 RC)

(ポリオ根絶ショートストーリー)

1. 昔々、世界で、ポリオという病気で困っている子供たちがたくさんいました。
2. しかし、世界中の誰も助けることができませんでした。多額のワクチンのお金が必要だったのです。
3. それを知ったロータリーは、「奉仕の理念」のもとに手を差し伸べることにしました。
4. その結果、人道的奉仕を志すロータリーの仲間たちによって多額の寄付が集まり、とうとうこの世からポリオをなくすまで「あと少し」のところまでできました。
5. ポリオを根絶し、世界の子供たちが笑顔で暮らす日が間もなく訪れようとしています。

一人ひとりのエネルギーを結集すれば偉大な力が生じます。そのエネルギーの元(源泉)は一体何でしょうか。フィロソフィーや、理念・目的といった人生・世界観に基づいた「考え方」であろうと思います。行動しなければ確かに何も生まれませんが、その行動を促す原動力となるものは、その「考え方」にであろうと思います。ロータリーは崇高な「超我の奉仕」の標語(フィロソフィー)を根底に、「奉仕の理念」を具体的に実践行動して形に現わさんとする職業人の集まりです。

ポリオ根絶の国際プロジェクトの成果も、「奉仕の理念」が具体的な実践行動として現れた結果です。「The Ideal of Service」=「Take Action」でなければなりません。これはコインの表裏の関係と同じでありましょう。そこにロータリーたる真骨頂があると思います。

また、ロータリーは「何をするか(What)」を考えることはもとより大事なことでありますが、ロータリーは「何のためにそれをするか(Why)」を常に問いかけて、ロータリーの目的、そしてロータリーの使命を果たしビジョンを実現していかなければなりません。異なる職業人の集まりであるロータリーにとっての魅力は、何といたっても DEI よろしく異業種の仲間との友情にあります。その根底に流れる「奉仕の理念」を中心としたロータリーの価値観が、個々のロータリアンの心に灯をともし、これがロータリークラブの存続、あるいは社会の発展、世界の平和へと広がり、これらの紐帯となっていることだと思っております。ロータリーの哲学を学び、これを仕事で、クラブで、社会で活用し行動してこそロータリーの存在価値・意義があり、そこにロータリーの魅力を生み出す価値があると考えます。

このように真のロータリーの魅力が一般社会に伝えられれば、公共イメージの向上につながり、ロータリーの更なる発展向上の推進力になるものと信じます。世界中を「奉仕の理念」が当たり前の世の中にしたいものです。



第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 大谷 新一郎（相模原南 RC）

第2地域ロータリー財団コーディネーター補佐を前任者田中賢三氏より引き継ぎ拝命しました大谷新一郎(2780地区・相模原南 RC)です。伊藤RRFCの補佐として与えられた職務を粛々と務めてまいり所存です。

2023年11月19日に行われましたロータリー財団地域セミナーにおきまして、令和4年度に公益財団法人ロータリー日本財団に寄せられた寄付額は2,210,263千円と最高額を達成できた旨の報告がありました。皆様の財団に対するご理解とご協力に心から敬意を表する次第です。

このように寄付に対する考えが次第に高まってきたことには大いに喜ばしいことですが、「寄付の文化」はまだまだ日本において理解が希薄ではないかと思えます。世界の現状に目を向けてみますと、「世界人助け指数」という評価の中で日本は2019-20年度では118位(119か国中)と下から2番目となっており、1位アメリカ・2位ミャンマー・3位ニュージーランドとなっております。

アメリカは2020年にアマゾン創業者(CEO)ジェフ・ベゾス氏が約100億ドルの寄付を行っておりますので当然1位でありましょうが、ミャンマーが過去3年1位であったことは子どものころから何らかの形で寄付という行為が日常生活に浸透していることがうかがえます。

では我が国において昔から全く寄付行為が無かったのかというところではありません。奈良時代には仏教僧が民間から奉加(ほうが)と呼ばれる寄付を集める活動がありましたし、江戸時代には商人たちが寄付を出し合って橋を建設したり子どもらのために寺子屋を開いたり慈善活動や後進育成に財産・時間を提供する文化がありました。

ところが明治に入り国の政策で地方自治体が中央集権体制となり「福祉をはじめとする公共サービスは行政がやるべきもの」という意識が植え付けられた結果、寄付行為や人助けの精神が乏しくなりました。

しかし近年我が国も次第に寄付に対する考え、理解が向上してきたように思えます。日本は自然災害が比較的多い所で過去において大きな震災等がありました。1923年の関東大震災そして1995年の阪神淡路大震災、まだ記憶に新しい2011年の東日本大震災とたて続きに見舞われました。どの時も日本はもとより世界中から大きな支援をいただき、国内では人助けの理念のもとボランティア活動が活発に行われるようになり、災害にあった人たちへ個人が個人で出来る範囲の支援が顕著になってまいりました。

近年の我が国の寄付額を見ますと

2010年(4900億)――>2020年(1兆2200億)となり徐々ではありますが「良いことをしよう」という考えが進んできたのではないかと思います。その「寄付の文化の向上」をロータリークラブが率先して進め、国民の皆様に啓蒙していくのも大きな活動のひとつだと思います。1917年にロータリー財団を創設したアーチ C・クランプの「世界でよいことをしよう」を実行し、世界平和を目指していきたいと思えます。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol.

285

2023年12月13日
発行

1. 創立40周年！台湾米山学友会が記念式典開催

現在、国内外で43の米山学友会が活動していますが、最初の学友会として1983年から活動を開始した台湾米山学友会。そして今年、同学友会は創立40周年を迎え、その記念式典が11月25日、台北市内で開催されました。会場には台湾在住の米山学友や、同学友会が支援する日本人奨学生のほか、日本からも多くの参加者が現地に集結。参加者は111人となりました。

当会からは、若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、駒井英基常務理事が出席。そのほか、韓国学友会の全炳台会長（1980-83、91/仙台北RC）、スリランカ学友会のダシルワ プブドゥ会長（2007-09/室蘭北RC）や、台湾学友会の歴代理事長らも駆けつけ、節目の40周年を祝いま



した。

林志昇^{リン ショウ}理事長（1992-94/津RC）は、「これまで支えていただいたロータリー会員と米山奨学会に改めて御礼申し上げます」と感謝の言葉を述べました。活動・会計報告を行った後、同学友会が独自支援している日本人奨学生5人が流ちょうな中国語で自己紹介を行い、温かい拍手が送られました。なお、同学友会が2009年から日本人若手研究者奨学金として支援してきた奨学生は累計53人となり、今回の式典にも元奨学生6人が出席しました。

台湾のみならず、韓国やスリランカからも学友が集った会場では、これまでの台湾学友会の歩みを振り返るとともに、感謝の言葉で溢れました。



2. 来年の年賀状は学友がデザイン

デザイン：ロウギョウネイさん（2018-19/東京町田RC）

ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリー会員によって支えられている事業です。2023学年度は日本全国で900人、これまでに世界131の国・地域から23,509人を支援しています。旧年中のご厚誼に感謝いたしますとともに、皆様にとって幸多き新年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

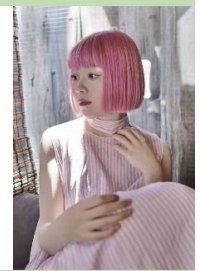
2024年 元旦
理事長 若林 紀男
事務局長 一同

Rotary
公益財団法人
ロータリー米山記念奨学会
ロータリーは世界を結ぶネットワーク
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 国際芝公園ビル3階

当会では、評議員、理事、監事、専門委員、地区米山奨学委員長、奨学生、日本在住の学友などへ毎年年賀状を送っています。来年の年賀状は、アーティストとして活躍する米山学友、ロウギョウネイさん（2018-19/東京町田RC/東京麴町スターロータリー衛星クラブ創立会員）によるデザイン。お手元に年賀状が届いた方は、じっくりとご覧ください。

<ロウギョウネイさんからメッセージ>

この作品のタイトルは「抱龍」です。来年の干支である龍は、幸運の象徴。2024年は、皆さんそれぞれが多幸を胸に抱くことができるようお願いを込めて、龍を抱く姿を描きました。一人でも多くの方が、たくさんの幸福をその胸に抱くことができますように。



3. 次期地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

2024-25 年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第 1 回セミナーを 12 月 4 日、都内会場で開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、井原實常務理事の講話から始まり、滝澤功治副理事長から危機管理に関してご説明いただいた後、事務局から学務関連について説明を行いました。

午後の部では、事務局から寄付、広報、学友会について説明。続いて第 2660 地区（大阪府）の事例発表として、辻本啓之次期委員長より寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。同じく事例発表として、第 2650 地区（福井・奈良・滋賀県・京都府）の片山隆永委員長から、危機管理に関する対応事例について発表いただ



きました。その後、4 グループに分かれて「寄付増進について」「奨学生選考と育成について」「学友・学友会について」「危機管理について」などをテーマにディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、神野重行常務理事の講評で締めくくられました。

4. 寄付金速報 — 12 月の送金はお早めに —

前年同期比

+ 4.9%

普 + 0.3% 特 + 7.0%

11 月までの寄付金は、前年同期と比べて 4.9% 増（普通寄付金: 0.3% 増、特別寄付金: 7.0% 増）、約 3,480 万円の増加となりました。今月は特別寄付金に加え、普通寄付金

も前年度を上回るご寄付をいただきました。常日頃からご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。12 月 29 日（金）までに当会口座に着金した特別寄付金については、確定申告用領収証を来年 1 月末日までに各クラブ宛に発送します。確定申告をご予定されている方は、お早目にご送金くださいますようお願いいたします。

5. 韓国米山学友会が総会開催

11 月 18 日、ソウル市内のホテルにて、韓国米山学友会総会が開催され、国内外から集まった米山学友とロータリー会員ら 73 人が参加しました。当会からは若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、柚木裕子事務局長が出席しました。

全炳台会長が開会挨拶を行い、参加者への感謝を述べた後、若林理事長から祝辞が送られました。その後、日本人奨学生への奨学金授与式が行われ、今年度の 9 人の奨学生のうち出席した 4 人が受け取りました。同学友会は独自で現



地日本人留学生を支援しており、累計の奨学生数は 42 人となりました。

また、今年度をもって、2014 年から 10 年にわたり同学友会の会長を務めた全炳台さんが退任し、2024 年 1 月 1 日

から新たに朴在泳さん（^{パクジエヨン}1995-97 / 仙台泉 RC）が 6 代目の会長に就任することが決定。就任に際し、「学友会の発展のために努力し、韓国と日本の懸け橋となり、世界各国の学友会と交流を通じて米山の精神を受け継いでいきます」と、今後の学友会活動への意気込みを語りました。

6. 食と文化の奉仕活動 第2750地区米山学友会

11月11日、東京都市大学等々力高等学校にて国際交流イベント「米山クロスカルチャー」が開催されました。この取り組みは、今年で9回目の開催で、東京クロスシティRCが主催しており、第2750地区米山学友会と同地区米山記念奨学委員会が後援しています。

同校の高校生231人に対し、現役奨学生・学友やローターアクトなど51人が講師役を務め、母国紹介や留学経験、趣味についての話題を日本語と英語、あるいは各自の母国語を交えて交流。生徒らは英語でプレゼンテーションを行うなど、お互いが外国語を用いた異文化交流を行いました。

また翌週18日には「ひとり親支援フードドライブ」を開催。6人の学友と9人のローターア



クター、同地区の粕谷啓之米山記念奨学委員長らが参加しました。東京オーキッド世田谷南RAC、東京クロスシティRCと連携し、世田谷区内在住で、子ども食堂の利用経験がないひとり親の方々100世帯分の食材を集め、世田谷区社会福祉協議会に寄付しました。寄付されたものには、ローターアクトの相楽侑加さんのご実家の福島産コシヒカリや、学友提案のレシピ用食材、韓国のお菓子など、さまざまな食材が集まったそうです。また、食材寄付に加え、同学友会が掲げる3つのテーマである「震災や災害情報支援」「食を通じた国際交流」「高齢者の社会参加」に沿って、東京オーキッド世田谷南RACが地震発生時の防災ガイドラインの提供、第2750地区学友会が海外食材を使ったレシピと文化紹介と、デイサービスでの子ども向けプレゼントの製作を行いました。

◆ベトナム南米山学友会 創立記念式典のご案内◆

海外10番目の学友会として設立されたベトナム南学友会の
創立記念式典が開催されます

2024年3月10日(日) 17:00~21:00
THANH THUY レストランにて開催(ホーチミン市内)
問合せ先: vietnam.yoneyama@gmail.com

詳細はQRコードから



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月29日(金) 当会着金分までが対象です。

米山記念奨学会事務局は、12月28日(木)~1月8日(月)の間休業させていただきます。来年は1月9日(火)より通常業務となります。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当: 長尾(ながお)

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

岩見沢RC 酒井 茂 会員 (1回) 11月21日
 岩見沢RC 高谷 郁男 会員 (3回) 11月21日
 岩見沢RC 江本 勝典 会員 (40回) 11月21日
 岩見沢RC 菅野 聖人 会員 (4回) 11月21日
 岩見沢RC 北澤 治雄 会員 (6回) 11月21日
 岩見沢RC 三嶋 顕 会員 (8回) 11月21日
 札幌手稲RC 福井 敬悟 会員 (16回) 11月28日
 恵庭RC 大場 優光 会員 (1回) 11月9日
 室蘭北RC 本間 信 会員 (1回) 11月30日
 函館RC 原 一彰 会員 (5回) 11月20日
 函館RC 日下部 博久 会員 (6回) 11月20日

米山功労クラブ

岩見沢RC 第44回 11月21日
 岩見沢RC 第45回 11月21日
 札幌RC 第43回 11月30日
 函館RC 第15回 11月20日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メジャードナー

岩見沢RC 江本 勝典 会員 レベルIII 11月27日

ベネファクター

岩見沢RC 白杵 努 会員 11月27日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

砂川RC 永森 直弘 会員 (1回) 11月17日
 砂川RC 大橋 俊彦 会員 (1回) 11月17日
 砂川RC 造田 孝志 会員 (1回) 11月17日
 砂川RC 武田 昭二 会員 (2回) 11月17日
 江別西RC 鈴木 誠 会員 (1回) 11月2日
 岩見沢RC 木元 久嗣 会員 (1回) 11月27日
 岩見沢RC 菅野 聖人 会員 (3回) 11月27日
 岩見沢RC 北市 宗三 会員 (4回) 11月27日
 岩見沢RC 三嶋 顕 会員 (5回) 11月27日
 札幌北RC 吉井 千博 会員 (3回) 11月2日
 札幌西北RC 安藤 壽建 会員 (2回) 11月9日
 函館五稜郭RC 田嶋 英人 会員 (2回) 11月24日
 函館五稜郭RC 柏木 秀之 会員 (4回) 11月24日

11月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2023.7.1	2023.11.30	増減	内女性
1	深 川	3	30	29	-1	2
	羽 幌	3	34	34	0	1
	留 萌	3	25	25	0	3
	小 計		89	88	-1	6
2	赤 平	3	19	18	-1	2
	芦 別	3	26	26	0	1
	砂 川	3	39	39	0	2
	滝 川	4	85	83	-2	6
	小 計		169	166	-3	11
	3	美 唄	3	19	19	0
江 別	4	34	36	2	1	
江 別 西	3	34	34	0	3	
岩 見 沢	4	87	92	5	1	
岩 見 沢 東	2	12	12	0	1	
栗 沢	2	16	15	-1	0	
栗 山	3	24	24	0	4	
当 別	3	26	27	1	2	
小 計		252	259	7	13	
4	札 幌	3	119	133	14	3
	札幌はまなす	3	18	21	3	2
	札 幌 北	3	37	37	0	6
	札幌モーニング	3	36	38	2	0
	札 幌 西	3	47	47	0	8
	札 幌 西 北	3	38	38	0	6
	札 幌 手 稲	2	34	35	1	4
	小 計		329	349	20	29
5	札 幌 東	3	109	110	1	2
	札 幌 清 田	2	11	11	0	3
	札 幌 幌 南	2	59	60	1	4
	札 幌 真 駒 内	3	21	21	0	6
	札 幌 南	3	82	82	0	5
	札幌大通公園	2	12	13	1	3
	札幌ライラック	2	10	11	1	1
	新 札 幌	3	25	25	0	6
小 計		329	333	4	30	
6	岩 内	2	24	25	1	1
	倶 知 安	2	32	35	3	4
	小 樽	4	74	76	2	5
	小 樽 南	3	52	51	-1	3
	小 樽 銭 函	3	11	11	0	1
	蘭 越	2	9	9	0	0
	余 市	3	38	38	0	3
小 計		240	245	5	17	

クラブ数	69
期首会員数	2,361人
当月末会員数(女性)	2,423人(191人)
増加会員数	62人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2023.7.1	2023.11.30	増減	内女性
7	千 歳	3	74	75	1	12
	千歳セントラル	3	44	42	-2	10
	恵 庭	4	45	47	2	4
	北 広 島	3	15	16	1	1
	長 沼	3	15	15	0	3
	由 仁	2	7	7	0	0
	小 計		200	202	2	30
8	え り も	2	16	17	1	1
	三 石	2	11	11	0	0
	様 似	3	12	12	0	2
	静 内	3	59	60	1	5
	浦 河	3	16	21	5	2
	小 計		114	121	7	10
	9	伊 達	3	59	59	0
室 蘭		3	29	32	3	2
室 蘭 東		4	26	29	3	2
室 蘭 北		3	49	49	0	2
登 別		4	25	25	0	2
洞 爺 湖		2	10	12	2	1
小 計		198	206	8	11	
10	函 館 館	4	63	73	10	3
	函 館 亀 田	3	30	32	2	3
	森	2	35	34	-1	1
	七 飯	4	14	14	0	0
	長 万 部	2	9	9	0	0
	函館セントラル	4	22	23	1	2
小 計		173	185	12	9	
11	江 差	2	9	10	1	0
	函館五稜郭	4	56	55	-1	1
	函 館 東	3	35	36	1	7
	函 館 北	0	11	9	-2	1
	北 斗	4	11	12	1	0
	小 計		122	122	0	9
12	白 老	3	29	29	0	3
	苦 小 牧	3	59	59	0	3
	苦 小 牧 東	4	32	33	1	8
	苦 小 牧 北	3	26	26	0	2
	小 計		146	147	1	16
合 計		2,361	2,423	62	191	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数16名(内女性会員0名)を含む

※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数9名(内女性会員3名)を含む

※函館五稜郭RCには五稜郭すざらんロータリー衛星クラブの会員数7名(内女性会員0名)を含む

新会員のご紹介



江別 RC

望月 泰伸
令和6年1月11日
損害保険代理業



岩見沢 RC

大作 佳範
令和6年1月11日
一般廃棄物処理業

ガバナー事務所からお願い

1. クラブの例会・会員数報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へFAXかメールにて提出するようにお願い致します。

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。地区ホームページ⇒クラブ情報⇒例会変更フォームの順でアクセスできます。(ホームページにアクセスが難しい場合はFAX、メールでお送り下さい)

4. 各月ごとのクラブ会報について

当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

5. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月5日です。(メールでのご連絡にご協力ください)

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階

TEL(011)207-2510 / FAX(011)207-2512

E-mail: rid2510@pxva.ne.jp 執務時間: 午前10時～午後5時30分(土・日・祝日休み)

最新ロータリーレートは地区HPをご覧ください

地区カレンダー1・2月

1月 職業奉仕月間	
1 (月)	元旦
2 (火)	
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	
7 (日)	～11日(木)国際協議会(米国・オーランド)
8 (月)	成人の日
9 (火)	
10 (水)	
11 (木)	
12 (金)	
13 (土)	
14 (日)	
15 (月)	
16 (火)	
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	ガバナー補佐会議(小樽)
21 (日)	
22 (月)	
23 (火)	
24 (水)	
25 (木)	
26 (金)	
27 (土)	第8回学友交流・帰国報告会 第22回北海道ローターアクト交流会(名寄)
28 (日)	
29 (月)	
30 (火)	
31 (水)	

2月 平和と紛争予防／紛争解決月間	
1 (木)	
2 (金)	
3 (土)	
4 (日)	第8グループIM(浦河)
5 (月)	
6 (火)	
7 (水)	
8 (木)	
9 (金)	
10 (土)	第9グループIM(登別)
11 (日)	建国記念の日
12 (月)	振替休日
13 (火)	
14 (水)	
15 (木)	
16 (金)	
17 (土)	地区チーム研修セミナー(札幌)
18 (日)	
19 (月)	
20 (火)	
21 (水)	
22 (木)	
23 (金)	天皇誕生日
24 (土)	第12グループIM(苫小牧)
25 (日)	RLIセミナーパートⅢ
26 (月)	
27 (火)	
28 (水)	
29 (木)	

ガバナー事務局だより

新年あけましておめでとうございます。私たちガバナー事務局スタッフの役目も折り返しを無事過ぎることができました。それと同時に出村ガバナー年度、エレクトとしての三大研修準備も着々と進んでいるようです。1年前の私たちを思い起こすと、ただあたふたしていたのと違い、とても洗練された出村ガバナー事務局スタッフの皆さんに驚きと共に大いなる敬意を払いたいと思います。

さて、今月20日(土)には、ガバナー補佐会議を開催致します。各ガバナー補佐による上期報告と、下期予定の発表です。さらに、下期に行う地区事業の担当委員長にも出席いただき、それに対しお話しいただく予定となっております。

最後に、各クラブの会長、幹事の皆さん、松浦ガバナーの掲げられたオンリーワンチャレンジの進捗状況はいかがでしょうか……。奉仕の精神で、地域に合った新たなチャレンジを試していただきたいと思います。

地区代表幹事 齋藤 仁

編集後記

新年あけましておめでとうございます。2024年の幕開けと共に、私たちロータリークラブは新たな一年の旅立ちに心を躍らせております。昨年は皆様のご協力と熱心な参加により、数々の成功を収めることができました。その成果は、会員一人ひとりの貢献によるものであり、心より感謝申し上げます。

しかしながら、新年の喜びもつかの間、1月1日に発生した能登半島地震により被災された多くの方々が心身ともに大きな試練に直面されています。私たちロータリークラブは、被災された皆様へ心からの哀悼の意を表し、一日も早い復旧と回復を心からお祈り申し上げます。

新年は、新しい挑戦と機会に満ち溢れていますが、同時に困難に直面している人々への支援の必要性も強く感じています。私たちの団結と努力で、地域社会にさらなる貢献を果たし、特に今回の地震の被災者の方々への支援を重視していきたいと思います。会員の皆様の継続的な支援と情熱が、このクラブを支え、導く力となります。2024年も皆様と共に、より良い明日を築いていくことを楽しみにしております。

新年の抱負を新たに、さらなる成長と発展、そして困難に立ち向かう強さを持ち合わせて、一丸となって前進しましょう。皆様のご健康と幸福、そして被災された方々の早期の復興を心からお祈り申し上げます。今年も変わらぬご支援とご参加を賜りますよう、お願い申し上げます。

ガバナー月信委員会 中山 仁史

表紙の解説

小樽天狗山スキー場

小樽天狗山スキー場の山頂からの風景は、冬の訪れを告げるかのように美しく、厳しい寒さが漂います。ここから見下ろすと、小樽市中心部が一望でき、その景色はまるで絵画のようです。背景に広がる石狩湾は、気嵐が発生するほどの荒波を見せ、自然の力強さを感じさせます。写真の右下部分には、スキー場のゲレンデがあり、その最大斜度は40度にも及びます。この斜面は、多くのオリンピック選手を輩出しており、地元の小学生や中学生もここでスキーの技術を磨いています。また、近年はこの素晴らしい景色を目当てに、多くの外国人観光客が訪れるようになりました。1年で一番寒いこの時期に、多くの人々がこの地の魅力を求めて集まるのです。この地は、自然の美しさとスポーツの融合が生み出す、特別な場所なのです。



写真：© 中山 仁史 / K2.

